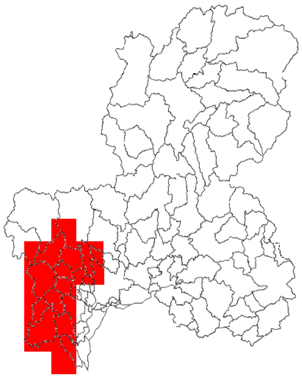
アカヒダボタン	*Chrysosplenium nagasei* Wakab. et H.Ohba var. *porphyranthes* Wakab. et H.Ohba	準絶滅危惧
	ユキノシタ科	

選定理由	分布域の一部において生育条件が悪化しており、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。
形態の特徴	高さ10cm程度の軟弱な多年草。根生葉は柄が短い杓子形、低い鋸歯があって対生し、無毛で葉脈が目立つ。先端が帯黄色に縁取られた4萼（がく）片は直立、密着して直径3mm弱の赤褐色の球状に見える。中に短い8個の雄蕊（しべ）がある。雄蕊の葯（やく）は暗赤色。
生態的特徴	山地の雪の多い谷間に生育する。開花期は4−5月。
分布状況	日本固有種。本州中部の滋賀県、三重県、岐阜県が接する伊吹山地、養老山地、鈴鹿山地に分布し、岐阜県においては美濃地方の西部に見られる。
減少要因	生育地が分断され、生育面積が狭く個体群も極めて小さいため、環境の変化に影響を受けやすい。
保全対策	生育地の保全。
特記事項	開発工事の計画には、事前の調査と注意が必要である。
参考文献	Michio Wakabayashi & Hideaki Ohba (1995) A Taxonomic Study of Chrysosplenium fauriae Group (Saxifragaceae), with Description of a New Species. Acta Phytotax. Geobot. 46(1):1−27

写真（後藤常明）



文責：後藤常明